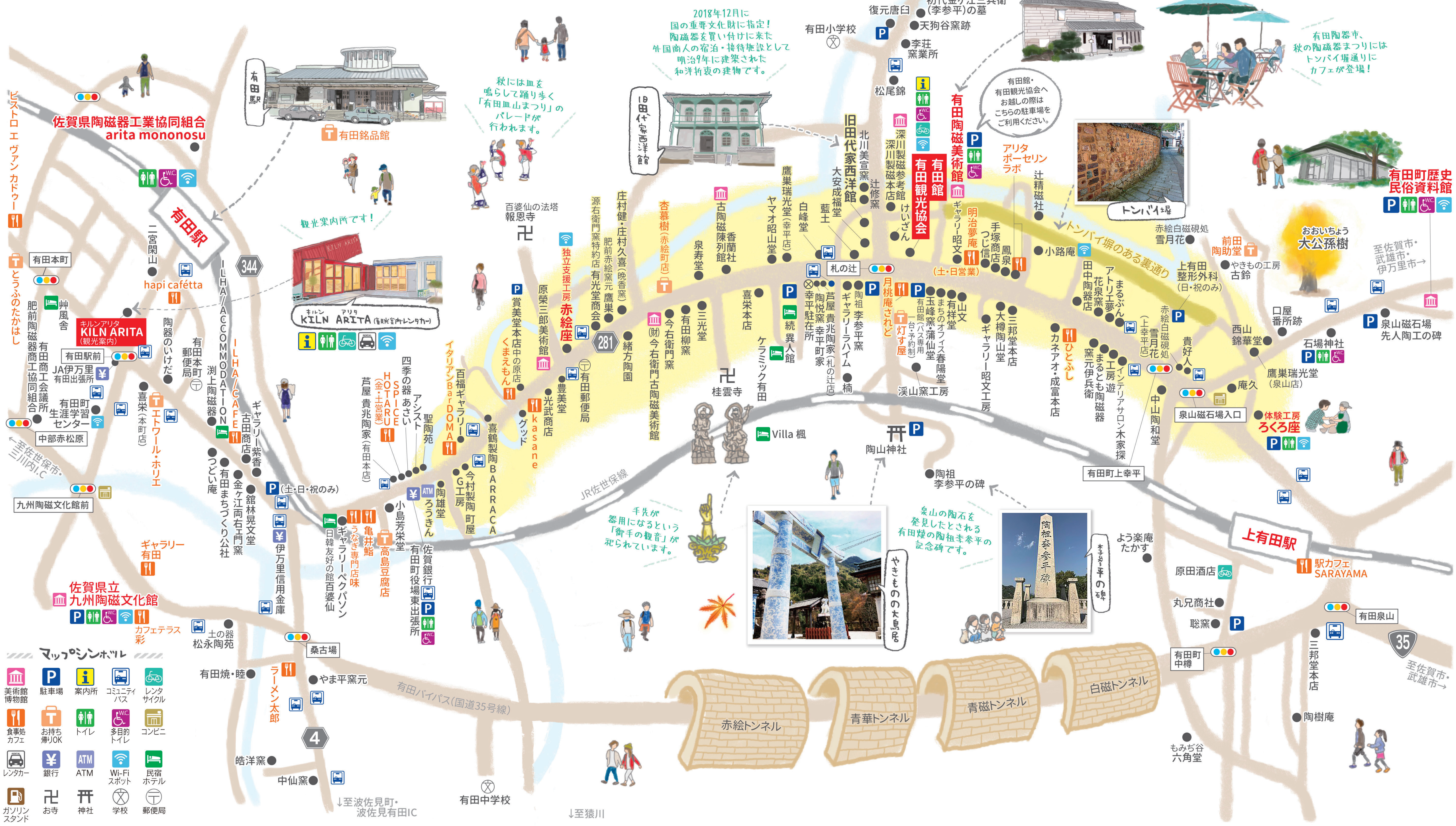
有田内山地区MAP

17世紀の初め、日本で初めて磁器生産に成功した有田は、佐賀藩の直轄地として磁器生産の中心地で『有田千軒』と称されるまで発展しました。その後、1828年に大火によってそのほとんどが焼失し、現在の建物はその後復興した町並みです。この町並みは特に歴史的価値が高いとして、1991年、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。毎年100万人以上の人出で賑わう「有田陶器市」は、100年以上の歴史がありますが、この通りを中心として毎年ゴールデンウィーク期間に開催されます。